武　一　中

URL:http://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/

平成３１年　３月　１日
武蔵野市立第一中学校
学校だより３０－１０号

「夢をあきらめるな！」

校長　　若槻　善隆

日本で初めての実測による「日本地図」を作った人…それは江戸後期の伊能忠敬（いのうただたか）という人物です。

忠敬は 1745 年、上総国（かずさ）（現千葉県）の九十九里浜の地引網漁の家に生まれました。幼い頃から天文学や数学に興味をもち、将来は学者になって“宇宙はどうなっているのか”“日食や月食はどうして起きるのか”など、不思議に思っていることを解き明かしたいと思っていました。しかし、家業を手伝わなくてはならず、さらに 17 歳の時、親の言いつけで地元の大商家の伊能家に婿入りしたため、学者になるための勉強はできませんでした。

49 歳になった忠敬は、家督を息子に任せて、隠居します。そして、家を出て、天文学を本格的に勉強するために、江戸に出て幕府の天文方暦局に行き、19 歳も年下の高橋至時（よしとき）という天文学者に弟子入りしました。暦局では、暦を作るために、星の動きを観測したり、日食や月食を予測したりする研究が行われていました。忠敬は寝る間も惜しんで、天文学の勉強をしました。当初、年寄りの道楽だと思っていた至時も次第に忠敬の熱心さに感心し、やがて「推歩先生」とよんだそうです。（推歩とは星の動きを測ること）

忠敬は地球の大きさを測る方法として「真北にある北極星を見る時、その場所によって見上げる角度が異なる。その角度の差を比べれば、地球上の緯度の差がわかる。南北を通る同じ経線上の二地点の距離と緯度の差がわかれば、地球の外周が割り出せる」と考えました。これを聞いた至時は、江戸から蝦夷（えぞ）地（北海道）までの距離を測ってみてはどうかと提案しました。そして「地図を作るための測量」という名目で、幕府から蝦夷地に行く許可を得ました。忠敬 56 歳の時でした。

測量の際、距離を測るのには「歩測」という方法を採りました。一歩を 69 ㎝と決め、歩数で距離を出す方法です。そして、方位磁石を使って、二つの地点を結ぶ直線がどの方向に向いているか計測し、これらの距離と方角を順に記録することで、海岸線の形を描き出しました。正確な測量のため、危険な場所でも素通りすることなく、海岸線ぎりぎりを丹念に「歩測」しました。

忠敬は第一次測量として蝦夷地まで、第二次測量として本州東海岸を歩いて下北半島まで、第三次測量として本州西海岸を歩いて津軽半島まで、第四次測量として東海・北陸地方の沿岸を「歩測」しました。ここまで約 3 年間かかりましたが、その距離は 9,000ｋｍに達していたといいます。忠敬の最初の目的である地球の大きさは、計算の結果、外周を約 40,000ｋｍとしました。（現在の GPS とスーパーコンピューターで計算した外周は 40,075ｋｍ）

忠敬は第四次測量までの結果を地図にし、幕府に献上しました。その精密さが認められ、西日本を含む日本全土の地図の作成を命じられました。そして 56 歳の第一次測量から 72 歳になる 17 年間にわたり、北海道から九州まで、全行程 34912ｋｍを測量しました。

そして、これらの結果をもとに一枚の日本地図にまとめる作業を始めましたが、各地の地図をつなぎ合わせようとしたところ、つなぎ目があいません。地球が丸いことを計算に入れていなかったことが原因でした。このことに気づいた忠敬は、誤差を修正するための計算を始めましたが、やがて病の床に就き、地図の完成を待たずに、73 歳で他界しました。

しかし、暦局の人たちは、忠敬が亡くなったことを隠し、3 年後に「大日本沿海輿地全図」を完成させ、幕府に献上しました。忠敬の死が公表されたのは完成の 2 か月後でしたが、幕府は、忠敬を称えるために、伊能家に刀を差すことを許し、武士と同じ地位を与えました。

少年の頃の夢を長い年月温め続け、50 代になってから、その夢の実現に挑戦し、完遂した伊能忠敬の生き方は、現代を生きる私たちにとって学ぶことが多いと思います。「夢をあきらめるな！」　（敬称略）

♫２年生「連合音楽会」で見事な合唱を披露♫

２月１日（金）、武蔵野市民文化会館に市内６校の公立中学校の２年生が集い、「連合音楽会」が開催されました。一中は全体の５番目に登場。前々日に１，３年生、保護者に加え、井之頭小学校６年生を招いて校内発表会が行われましたが、その際の３年生のアドバイスを活かし、「時の旅人」「地球の鼓動」の２曲を披露しました。（井之頭小学校６年生からは、後日温かいメッセージの寄せ書きをいただきました。）緊張感の中にも堂々とした迫力と美しい混声合唱を大ホールに響かせてくれました。一中の伝統が見事に継承された合唱でした。閉会式では、講師の橋本祥路先生が指揮をして下さり、一中生の伴奏で、橋本先生作曲の「夢の世界」を会場の全員で合唱しました。

２年生は、３年生という最上級生に向けて、学年の団結力を一層高めることができました。

ユニセフ学習会・ユニセフ募金

２月４日（月）生徒会主催「ユニセフ学習」が行われました。生徒会役員はこの「ユニセフ学習会」のために１２月２５日にユニセフハウスを訪れ、たくさんのことを調べきました。「ユニセフ学習会」では、生徒会役員が作成したビデオとユニセフからお借りしたビデオ「子どもと武力紛争」を使って「少年兵」について深く考えることができました。

この学習会の後、２月５日から一週間、生徒会役員が正門や東門に立ち「ユニセフ募金」が行われ、２７，９５８円の募金が集まりました。集まった募金はユニセフ協会に送られました。一中では毎年行われている活動ですが、こうした取組を通して、世界各国の子供たちの命を守ることの大切さに関心をもってほしいと思います。募金のご協力、ありがとうございました。

【一中生の活躍】　　(敬称略)

バドミントン部　武蔵野市中学校研修大会

２年女子ダブルス　　優勝　　河田　結生・内藤　菜々子
２年女子シングルス　第３位　杉田　夕奈
１年男子シングルス　準優勝　中浜　快真　　第３位　大石　勇樹
１年女子シングルス　第３位　平沼　未林

３月行事予定

日	曜日	行　　事	日	曜日	行　　事
1	金	都立高校一次・分割前期発表・手続き ２年合唱コンクールリハーサル	14	木	１，２年保護者会　⑥カット
3	日	武蔵野市青少年コーラス ジョイントコンサート	15	金	都立高校二次・分割後期　発表・手続き １，２年卒業式練習 開かれた学校づくり協議会
4	月	３年合唱コンクールリハーサル	18	月	生徒会朝礼　卒業式予行
5	火	１年合唱コンクールリハーサル 安全指導	19	火	⑤⑥卒業式準備
6	水	都立高校二次・分割後期出願	20	水	第７２回卒業式
8	金	合唱コンクール	21	木	春分の日
10	日	武蔵野市民駅伝	22	金	給食終
11	月	全校朝礼　　全校委員会 都立高校二次・分割後期入試 ⑤⑥３年生オリパラ学習	23	月	終了式　　大掃除
12	火	避難訓練 ３年生奉仕活動　　各種委員会	26	火	春季休業始（始業式は４月８日）